2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向けた 科学技術イノベーションの取組に関するタスクフォース＜報告＞

○骨太方針や総合戦略2014に基づき、大会を通して世界へ発信していくべき科学技術イノベーションのプロジェクトを形成するため標記タスクフォースを開催。

○有識者や各府省や東京都、組織委員会の協力のもと、基本理念や大会での活用を見据えた9つのプロジェクトの実施計画、スローガンをとりまとめ。

＜タスクフォースメンバー＞

内閣府特命担当大臣（科学技術・イノベーション担当）主催のもと、以下のメンバーで構成。

■有識者

伊藤 智也　：元パラリンピック（陸上）代表選手
齋藤 ウィリアム 浩幸　：(株)インテカー代表
竹内　薫　：サイエンス作家
為末　大　：元オリンピック（陸上）代表選手
野口　雄史　：(株)テレビ東京 チーフ・プロデューサー
パトリック ハーラン　：タレント

■総合科学技術・イノベーション会議議員

■オブザーバー

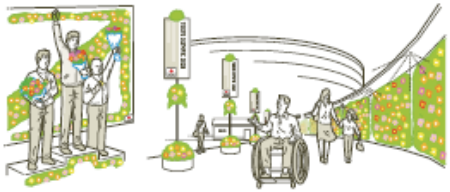
東京都オリンピック・パラリンピック準備局
東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
内閣官房2020年オリンピック・パラリンピック競技大会推進室

■第1回は舛添東京都知事が出席

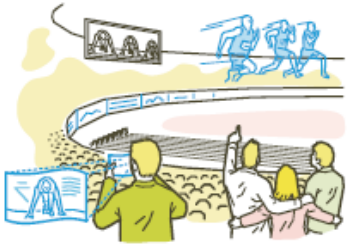
科学技術イノベーションで世界を大きく前進させる9つのプロジェクト

快適　環境　安全

Hospitality Innovation 2020
スマートホスピタリティ
海外からの来訪者に、移動や会話に伴う
ストレスのない、やさしい誘導を

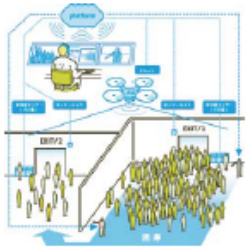


Flower Innovation 2020
ジャパンフラワープロジェクト
最先端技術を活用し、夏でも多くの国産の花で街に彩りを



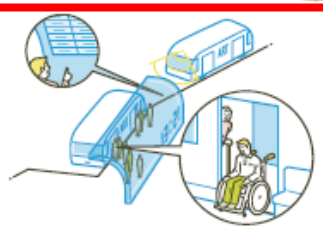
Global Movie Experience Innovation 2020
新・臨場体験映像システム
臨場感あふれる映像技術が生み出す
「ワクワク」を、世界中の人と一緒に

Disease Information Innovation 2020
感染症サーベイランス強化
感染症の発生をすばやく察知・公開し、
健康的な暮らしを守る



Big data & Sensing Innovation 2020
移動最適化システム
ビッグデータでヒトの流れをスムーズにし、
安全で快適なおもてなしを

New Accessibility Innovation 2020
社会参加アシストシステム
障害者・高齢者が、健常者と同じように
社会参加するアシストを



Mobility Innovation 2020
次世代都市交通システム
すべての人に優しく、使いやすい
移動手段を

Energy Innovation 2020
水素エネルギーシステム
水しか排出しない最新エネルギーで、
移動・暮らしに次のクリーンを

Weather forecast Innovation 2020
ゲリラ豪雨・竜巻事前予測
ゲリラ豪雨が降りだす前に、
人々へお知らせ

各プロジェクトにおける訴求ポイント

プロジェクト	社会にとってのメリット・訴求ポイント	各プロジェクトが持つ主要技術
PJ1 スマート ホスピタリティ	1. 海外からの来訪者ともストレスフリーなコミュニケーションを実現し、インバウンド観光の促進にもつなげる 2. 通信機器及び測位技術やロボットなどの技術が、さりげなく移動や会話をアシストする社会を実現	1. 多言語音声翻訳システム 2. 準天頂衛星や屋内測位技術を活用した高精度測位技術 3. 顧客の購入品・移動履歴等からサービス向上に資するデータを地域で共有できるプラットフォーム 4. ロボット技術
PJ2 感染症サーベイランス強化	1. 「感染性(Infectious Disease)」への確固たる対応 2. 水際から国民までのインフォメーションチェーンが重要	1. 昆虫媒介性ウイルス感染症に対する総合的対策に関する研究 2. 感染症の診断機能向上のための研究
PJ3 社会参加 アシストシステム	1. 科学技術により障害者、高齢者の社会参加を促進 2. 障害者、高齢者の「心身のバリアフリー」を目指す	1. 移動・機能支援 2. 競技支援(障害者、高齢者の移動・機能支援活用も含む) 3. コミュニケーション支援
PJ4 次世代都市交通 システム	1. すべての人に優しく、使いやすい移動手段の提供 2. 安心・安全／ストレスフリーを目指す 3. モビリティ単体だけでない都市システムとの融合 4. パッケージ化による地方や海外への展開	1. 自動走行(正着)制御(自動幅寄せと車高調整) 2. PTPS高度化(公共車両優先システム) 3. C－ACC(車車間通信)・路車間通信を利用したART車両の制御 4. ARTシステム統合化
PJ5 水素エネルギー システム	1. 水素製造～輸送～使用まで、全てにおいてグリーンを目指す 2. CO_2フリー水素バリューチェーン 3. 九州・東北・北海道等、再生可能エネルギー発電の買電飽和地域での水素製造	1. 再生可能エネルギー由来水素製造技術開発 2. エネルギーキャリア(アンモニア・有機ハイドライド)技術開発 3. アンモニア直接利用燃料電池技術開発 4. アンモニア直接利用タービン発電技術開発
PJ6 ゲリラ豪雨・竜巻 事前予測	1. 気象予測システムの高度化 2. ゲリラ豪雨等の極端気象を事前にピンポイント予測	1. マルチパラメータフェーズドアレイレーダ等の開発・活用による豪雨・竜巻予測情報の高度化と利活用に関する研究 2. 水災害に対する観測・分析・予測技術の開発及び導入等
PJ7 移動最適化 システム	1. ストレスフリーな見守りへ 2. 人流・人員配置の最適化(効率化)	1. 見守りや人流・人員配置の最適化(効率化)の実現のためのデータ処理・分析・セキュリティ技術 2. データを集約・利活用するプラットフォームの実現のためのデータ蓄積・高速データ処理・セキュリティ・低消費電力デバイス技術
PJ8 新・臨場体験 映像システム	1. 手軽に時間と空間を超えてスポーツの感動を世界と共有 2. 世界のどこでも、まるでその場にいるかのような臨場感が体験可能に 3. 遠隔教育・遠隔医療などへの応用	1. 距離の壁を超える空間映像技術 2. 革新的な映像表示を可能とする次世代デバイス技術開発
PJ9 ジャパンフラワー プロジェクト	1. 安定供給／日持ちのよさの向上 2. 国内競争力の向上	1. 栽培環境制御による夏場における花きの安定生産技術 2. 切り花の日持ち性向上技術